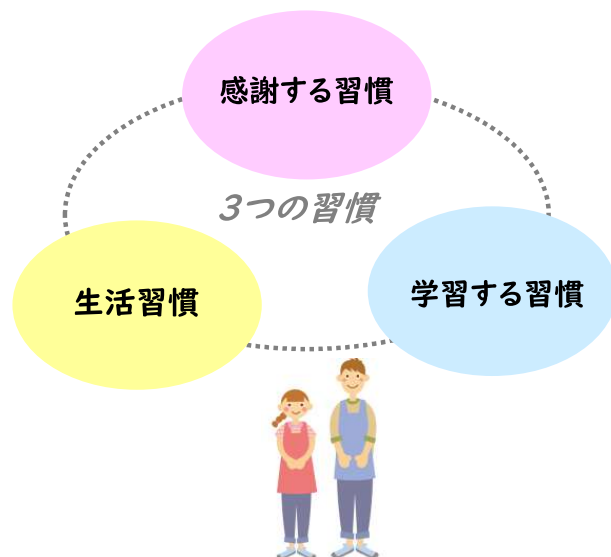




外国人介護人材 講習

■教育への思い

弊社は実習生がより実りのある実習期間を過ごし、将来の飛躍につなげる為には、日本国内での入国後講習が非常に重要だと考えております。弊社では、技能実習生として必要な3つの習慣をしっかりと身につけ、“点”では終わらない日本語教育を行うことで、実習生の自立と成長を促す日本語教育改革に努めます。



■教育の特徴

ポイントを押さえた「介護の日本語講習」が可能

「日本生活文化検定」より具体的な講習が可能

監理団体、実習施設へのフォローも支援



■カリキュラム

	科目	内容
技術 技能 知識	介護の基本	介護職の心構え、介護は究極のサービス業であることへの理解。介護の職業倫理、視点、専門性、他業種連携を学ぶ。介護の環境衛生とリスクマネジメントを学ぶ。
	コミュニケーション技術	視覚等五感をフルに活用し、笑顔を忘れず、声かけを常にすることが大切。コミュニケーションが心の扉を開くことにつながり、信頼へとつなげる。
	移動・移譲の介護	車椅子、杖、歩行器等使用時の介助とは。ベッド→車椅子→ベッド、車乗り降り等。
	食事の介護	雰囲気作り、テーブルと椅子の位置、箸かスプーンかフォーク、声かけ、器等。利用者に合わせた食事を。
	排泄の介護	オムツ交換（布、紙）、パット、差込便器、ポータブルトイレ。利用者の尊厳やプライバシーに配慮するように。
	衣服の着脱の介護	着替えにより効果は2つ：皮膚の清潔保持と生活のメリハリ。着替えのポイント：着脱しやすい衣服を選ぶこと。
	入浴・身体の清潔の介護	浴槽や洗い場の滑り止めマット、手すり、段差、シャワー椅子等、転倒しないように。他、手浴、足浴、清拭も理解する。

